

令和5年度 桃陽総合支援学校 前期学校評価アンケート

確かに学力	健やかな身体	豊かな心	教職員	よく出来ている 大体出来ている あまり出来ていない 出来ていない				保護者	よく出来ている 大体出来ている あまり出来ていない 出来ていない わからない					児童・生徒	そう思う 大体そう思う あまり思わない 思わない				病院等関係者	よく出来ている 大体出来ている あまり出来いない 出来ていない わからない					
				よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない		よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない	わからない		そう思う	大体そう思う	あまり思わない	思わない		よく出来ている	大体出来ている	あまり出来いない	出来ていない	わからない	
学習について			①児童生徒の基礎的な学力の向上を目指した指導を行う。	7.0%	75.0%	14.0%	4.0%	②子どもが学習内容を理解し、基礎的な学力をつける	15.0%	50.0%	20.0%	0.0%	15.0%	②勉強はよくわかる	20.0%	50.0%	15.0%	15.0%	③導入したICT機器等を有効に活用し、工夫した授業がされている	29.0%	36.0%	7.0%	0.0%	29.0%	
								③子どもが話をしっかりと聞く	15.0%	55.0%	15.0%	0.0%	15.0%	③先生や友だちの話をよく聞いている	35.0%	50.0%	15.0%	0.0%							
			③子どもがICT機器を利用できるように指導する	32.0%	50.0%	18.0%	0.0%	⑤書籍や新聞タブレットなどを利用して、必要な情報を探し出す	10.0%	70.0%	20.0%	0.0%	0.0%	⑤本や新聞タブレットを使い、調べたり考えたりしている	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%							
			④自主学習が習慣づく指導を行う	11.0%	22.0%	67.0%	0.0%	⑥子どもが自主学習の習慣を身に付ける	10.0%	30.0%	30.0%	30.0%	0.0%	⑥タブレットや電子黒板を使って学習することでよくわかる	30.0%	50.0%	10.0%	10.0%							
			⑪わかりやすい授業づくりを工夫する(ICTの有効活用を含む)	21.0%	57.0%	21.0%	0.0%	⑫学校がわかりやすい授業を工夫する	30.0%	40.0%	0.0%	0.0%	30.0%	⑫先生は私の質問にていねいに答えてくれる	45.0%	50.0%	0.0%	5.0%							
								①子どもが楽しく学校に通う	15.0%	70.0%	15.0%	0.0%	0.0%	①学校生活は楽しい	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	①児童生徒は楽しく学校生活を送っている	15.0%	81.0%	4.0%	0.0%	0.0%	
			②子どもが相手を意識して聞いたり話したりできるように指導する	18.0%	57.0%	21.0%	4.0%	④子どもが相手に伝わるように話す	5.0%	65.0%	20.0%	5.0%	5.0%	④思ったことや考えたことを話している	15.0%	50.0%	35.0%	0.0%	④来校したとき児童生徒は挨拶する	14.0%	46.0%	21.0%	7.0%	11.0%	
			⑤児童生徒がすんでもいさつできるように指導する	14.0%	57.0%	29.0%	0.0%	⑦子どもがあいさつをする	30.0%	45.0%	10.0%	10.0%	5.0%	⑥自分からすんでもいさつしている	10.0%	40.0%	30.0%	20.0%	④来校したとき児童生徒は挨拶する	14.0%	46.0%	21.0%	7.0%	11.0%	
			⑥子どもが場に応じた言葉づかいができるように指導する	15.0%	41.0%	44.0%	0.0%	⑧子どもが場に応じた言葉づかいをする	5.0%	55.0%	10.0%	10.0%	15.0%	⑦その場に応じた言葉づかいをしている	25.0%	40.0%	30.0%	5.0%	④来校したとき児童生徒は挨拶する	14.0%	46.0%	21.0%	7.0%	11.0%	
生活について			⑨子どもが協力して取り組めるような活動を計画立案する	22.0%	71.0%	7.0%	0.0%	⑩子どもたちが協力して学校生活をおくる	15.0%	60.0%	5.0%	0.0%	20.0%	⑨相手の人の気持ちを考え行動している	15.0%	65.0%	20.0%	0.0%	①児童生徒は楽しく学校生活を送っている	15.0%	81.0%	4.0%	0.0%	0.0%	
			⑩学校の行事のねらいを明確にし、児童生徒にとつて意義のあるものにする	18.0%	71.0%	11.0%	0.0%	⑪学校行事が子どもにとって意義のあるものになっている	25.0%	55.0%	10.0%	0.0%	10.0%	⑩友だちと一緒に活動すると楽しいTV会議などの活動も含む	35.0%	60.0%	5.0%	0.0%	②学校行事において児童生徒は生き生きとした活動の様子が見られる	19.0%	67.0%	7.0%	0.0%	7.0%	
			⑦社会のルールや生活のマナーが守ることができるように指導する	11.0%	57.0%	29.0%	4.0%	⑨子どもが社会のルールを守り生活のマナーを身に付ける	5.0%	60.0%	25.0%	5.0%	5.0%	⑧学校の決まりや約束を守っている	30.0%	55.0%	10.0%	5.0%	⑤児童生徒は社会のルールを守り生活のマナーを身に付けています	4.0%	57.0%	32.0%	7.0%	0.0%	
			⑩子どもが自分の健康管理に気を付けられるように指導する	29.0%	64.0%	7.0%	0.0%	⑭子どもが自分の体のことを気を付けて活動する	30.0%	50.0%	5.0%	15.0%	0.0%	⑮病院の先生や看護師さんの言われたことを守っている	40.0%	40.0%	15.0%	5.0%	④来校したとき児童生徒は挨拶する	14.0%	46.0%	21.0%	7.0%	11.0%	
			⑩子どもの良いところを見つけほめる	36.0%	60.0%	4.0%	0.0%						⑪自分には良いところがあると思う	20.0%	10.0%	40.0%	30.0%	⑥教職員に連絡や相談がしやすい	14.0%	64.0%	11.0%	4.0%	7.0%		
			⑫子どもの相談に適切に応じる	43.0%	43.0%	10.0%	4.0%	⑬子どもが家族や先生に自分の思いを伝える	30.0%	40.0%	20.0%	5.0%	5.0%	⑭私の悩みや困りごとを聞いてくれる人がいる	40.0%	45.0%	15.0%	0.0%	⑥教職員に連絡や相談がしやすい	14.0%	64.0%	11.0%	4.0%	7.0%	
			⑭児童生徒にすることを主治医と十分話し合い個別の包括支援プランに活かす	14.0%	54.0%	28.0%	4.0%	⑮学校が個別の包括支援プランについて、わかりやすく説明する	10.0%	60.0%	5.0%	5.0%	20.0%	⑯自分なりの目標をもって生活している	20.0%	50.0%	20.0%	10.0%	⑦桃陽総合支援学校のホームページを見たことがある	0.0%	11.0%	25.0%	43.0%	21.0%	
			⑮個別の包括支援プランを適切に修正・更新し懇談会やカンファレンスに生かす	14.0%	43.0%	36.0%	7.0%	⑯個別の包括支援プランにおいて、子どもに合った短期目標が設定されている	15.0%	50.0%	5.0%	0.0%	30.0%					⑧学校だより、ホームページなどを見ると、学校の様子がよくわかる	0.0%	43.0%	14.0%	4.0%	39.0%		
教育環境や地域との連携について			⑯教育活動の情報をタイムリーにホームページなどで知らせる	19.0%	41.0%	36.0%	4.0%	⑰学校だより、ホームページをなどを見ると、学校の様子がよくわかる	30.0%	45.0%	5.0%	5.0%	15.0%	⑰桃陽総合支援学校のホームページを見たことがある	0.0%	11.0%	25.0%	43.0%	21.0%						
			⑰学校経営方針に基づく予算を立案し、効果的な執行をする	18.0%	64.0%	18.0%	0.0%	⑱学校が預り金や就学奨励費について十分な説明をする	45.0%	35.0%	10.0%	0.0%	10.0%	⑱学校だより、ホームページなどを見ると、学校の様子がよくわかる	0.0%	43.0%	14.0%	4.0%	39.0%						
			⑯保護者・病院・地域との連携を密にして、より開かれた信頼される学校づくりを推進する	18.0%	64.0%	14.0%	4.0%	⑲学校・家庭・病院・地域が連携して子どもたちを育てる	40.0%	55.0%	5.0%	0.0%	0.0%	⑲学校・家庭・病院・地域が連携して子どもたちを育てる	7.0%	50.0%	25.0%	0.0%	18.0%						
			⑯近隣地域との交流を通して社会の一員であることを実感できる活動を実施する	11.0%	32.0%	46.0%	11.0%																		
			⑰児童生徒や保護者に係る個人情報の管理に細心の注意を払う	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%																		
			⑱児童生徒が安全に学校生活をおくことができるよう定期的に点検や修繕を行っている。	39.0%	61.0%	0.0%	0.0%																		
子どもたちが協力し合ったり、意欲的に取り組む姿が見られるように、行事や活動を計画立案している。(実現度90%)また、基礎学力をつけることも重要と考えており、日々の学習に積極的にICT機器を使っていている。(実現度82%)自主学習が習慣づくよう、本校では、放課後学習の時間を設定している。				保護者・病院・家庭が連携して子どもたちを育てていると実感している割合が高い。本校では、PTA主催の行事への参加も増え、子育ての悩みを共有できる機会にもなっている。日々子どもたちの学ぶ様子を身近に感じられる分教室では、分教室ならではの学び方を肯定的に受け止めていただいている。家庭で学習する姿を見ることが少なく、自主学習の習慣が身についてはいないとの回答割合が高い。				学校や病院でのルールを守り、友だちと一緒に活動したり活動したりすることができていると答えた児童生徒が80%以上である。学習に向かう気持ちちは時々で違いはあるが、タブレット等を利用してながら調べたり考えたり(80%以上)しており、学習効果もあがっていると答えている(80%)。自分なりの目標を持って生活していると答えた児童生徒は70%近くいる。行事等の振り返りを見ると、取組に満足している様子がうかがえるが、自分を肯定できている者も70%近くいる。				病院関係の方々は、学校行事での生き生きした様子や、楽しく学校生活を送っている様子を肯定的に受け止めている。HPの記事を分教室に掲示し、実際の様子も見ていただけるようにしていきたい。													

- ・児童生徒が「友達と一緒に活動することを楽しい」と感じ、まわりの大人も協力している姿を肯定的にとらえているところから、教職員がねらいをもって行事に取り組めるように進めている成果が表れているものと考える。
- ・周りの大人が「学校生活を楽しんでいる」ととらえているほどには、児童生徒は「楽しいと感じていない」様子がある。「自分に良いところがある」と自信をもって言い切れないのも、そのあたりのずれがあるのかもしれない。悩み事を聞いてくれる人のいる環境、「子どもたちの良いところを見つけほめる」「相談に適切に応じる」姿勢を継続しながら、対応していきたい。
- ・自主学習は昨年度に引き続き、習慣化に向けての取組が必要である。放課後学習（本校）や病院での学習など、大人が見ていないところで取り組んでいる姿もある。
- ・「個別の包括支援プラン」についてわかりやすい説明が求められる。保護者は昨年度と比較すると本人に合った目標になっていると答えているので、児童生徒の「願い」の実現に向け有効活用できるようにしていきたい。

【全体を通して】

確かな学力の育成:

アンケート結果からはICT機器を利用できるように指導し、児童生徒が学習や情報収集役立てている事がわかる。学校運営協議会の委員の方からは、放課後や病院で自分から学習しようとしている児童生徒が増えてきているように思えるとの声もあり、「知りたいことや学びたいこと」がそこにあることや、「わかった、やりきった」という実感も大切である」というアドバイスをいただいた。

豊かな心の育成

本校では何かしらのつまづきがあり、入学に至った子どもたち多い。分教室では突然の入院にとまどい、受け入れられない児童生徒もいて、自己肯定感は低くなる要素が強い。そのような状況であっても、行事に向けて、やり切ったり自分の体調や心の持ちようを把握して、ストレスをため込まないように工夫している姿が見られるようになった児童生徒もいる。子どもたち自身が「やり切った自分」を感じられる体験を重ねたい。個々の生徒に合ったスマールステップが大切とのアドバイスをいただいた。

健やかな身体の育成:

児童生徒は、自分なりに心と体の健康について気をつけていることがアンケート結果から読み取れる。本校・分教室とも朝の健康観察を継続的に行っていることが、その一助になっている。

独自の取組:

そばに友だちの存在を感じられるよう学習をすすめていくことは、入院中の児童生徒にとって治療に向かう気持ち、学習に向かうモチベーションの向上につながり、病弱教育の根幹ともいべきところである。リモートの環境を充実させ、活用することは、当校にとって欠かすことのできないものである。「現象としてつながり」から、「児童生徒の望むつながり」へ目を向けていきたい。

